

(6) 商工費

○ 工業振興と企業誘致の促進

本市産業の中心である工業の振興を図るため、平成26年度に策定した「工業振興基本計画」の方向性に沿って、金融、人材育成などの経営支援を実施した。

また、企業誘致については、引き続き市外企業の進出を促進した。

○ 中小企業の支援と地域経済活性化

国内の景気は、緩やかな回復基調にあったものの、本市においては景気回復の実感が乏しく、市内中小企業は依然として厳しい経営状態にある中、金融面で支援するため、市の事業資金及び国県の融資制度の利用者が支払った利子や信用保証料に対し、補助した。

○ 商店街における後継者育成と空き店舗活用への支援

商店街において課題となっている後継者を育成するため、秦野商工会議所に委託して、先進商店街の視察や商業者向けのセミナーである「はだの商人塾」などを実施した。

また、商店街の空洞化を防止し、新たな商業集積を図るため、商店街地域の空き店舗を活用して開業した商業者に対し、経費の一部を補助した。

○ にぎわいのある商業の振興

全国的に消費が低迷するなど、商業を取り巻く環境が依然として厳しい中、商店街団体等が実施する誘客と、消費者への還元を目的とした販売促進のためのイベント事業に対し、補助した。

商業者自らが商店街の魅力創出や活性化策を研究し、実践していくことを目的として、商店街にアドバイザーを派遣することにより、魅力とにぎわいのある商店街形成の促進を図った。

また、来街者の安全で安心な買物環境を確保するため、商店街等が管理する街路灯のLED化に伴う電気料や修繕料に対する支援を拡充した。

○ 雇用の促進と求職者支援

ハローワーク松田と連携した、秦野市ふるさとハローワークの運営により、求職者への職業紹介・相談及び情報提供を行い、雇用の促進を図った。

また、求職者の円滑な就職を支援するため、キャリアカウンセラーによる個別就職相談において、女性や若年者、新卒者・新卒予定者、中高年齢者及び不本意非正規労働者には優先日を設けて実施するとともに、

就職支援セミナーを開催した。

さらに、若者を対象とした事務職講座及びパソコン講座については、県との共催により実施した。

○ 観光施設の維持管理

市内の観光地や観光施設等の適切な維持管理に努め、魅力ある観光地の創出を図り、重点事業として観光地公衆トイレ洋式化（6か所、12基）と、金井場配水場休憩施設の設置工事を行った。

○ 花のある観光地づくりの推進

ハイキングコース沿いの遊休農地等に、花を背景とした美しい自然環境を創出することで、誘客を図るとともに、市民の安らぎの場を提供するため、栽培面積の保持に努めた。

○ 観光協会への補助

観光宣伝、観光企画事業、秦野駅の改札横に設置した観光案内所の運営などのソフト面の取組のほか、平成28年度は、映画『じんじん～其の二～』を本市で制作することを重点に取組を行った一般社団法人秦野市観光協会に団体運営経費・事業経費を補助した。

○ 観光客の周遊性・滞在性の向上

地方創生推進交付金を活用して、観光・地域資源の現状把握調査や会議の立ち上げ、秦野S A（仮称）周辺を拠点とした周遊ルートや整備に向けた方針づくりを行うなど、秦野市スローライフ体験事業検討支援事業を推進した。

○ 観光地を結ぶ交通手段による地域活性

地方創生推進交付金を活用して、大山～鶴巻温泉間のバスの実証運行と地域経済の活性化に向けた受け入れ体制を構築するため、アンケートの実施、需要予測及び鶴巻温泉周辺の活性化に向けた会議の準備を行った。

○ 三市共同による大山通信環境の整備

地方創生加速化交付金を活用して、伊勢原市、厚木市と連携し、自動接続を可能とするスマートフォンアプリを提供するとともに、大山の自然や歴史・文化を楽しめる観光情報や登山情報といったコンテンツを提供した。また、無料Wi-Fiを秦野駅観光案内所、弘法の里湯に設置した。

(1) 中小企業融資資金預託金

[産業政策課]

単位:円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
145,000,000				145,000,000	

市内中小企業の近代化及び経営基盤の確立を図るため、取扱金融機関に資金を預託し、中小企業の事業活動に必要な資金融資の円滑化に努めた。

- ・融資残高 36件 349,725,000円
- ・融資状況 10件 145,200,000円
- ・融資条件 限度額 目的に応じ5,000万円
期 間 目的に応じ5年・6年・7年・10年以内
利 率 目的・期間に応じ年2.1%・2.2%・2.3%以内 (平成29年3月末日現在)

(2) 市営駐車場運営費

[産業政策課]

単位:円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
14,321,074				13,702,234	618,840

地域商業の振興及び消費者の利便性の確保を図るため、市営駐車場の円滑な運営に努めた。

また、使用料収入が減少する中、渋沢駅北口駐車場内の照明をLED化し、経費を削減するとともに、利用者の増加を図るため、新たに案内看板を設置した。

片町駐車場においては、引き続き定期駐車券（月額1万円）を発行し、固定的な利用者確保に努めた。

・駐車場の概要

区 分	供用開始	駐車台数	駐 車 方 法 等	駐 車 料 金
渋沢駅北口	平成5年11月	36台	無人自動ゲート式 24時間営業	30分ごとに100円 午後10時から翌日午前8時ま では1時間ごとに100円
片 町	平成6年 7月	45台		

・利用状況

単位:台

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
渋沢駅北口	3,941	4,360	4,219	2,630	4,144	4,033	4,219	4,125	4,769	3,939	3,961	4,631	48,971
片 町	1,734	1,979	1,862	1,623	1,803	1,654	1,756	1,646	2,071	1,847	1,587	2,027	21,589

(3) 優良店舗及び優良工場等表彰事業費

[産業政策課]

単位:円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
69,976					69,976

中小企業の事業意欲の向上を図るため、経営の合理化、近代化、生産販売技術等で模範となる2小売店舗と2工場をそれぞれ表彰した。

(4) 商店街空き店舗等活用事業費

[産業政策課]

単位:円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,006,696					5,006,696

商店街の空洞化を防止し、活性化を図るため、商店街区域内にある空き店舗を活用して開業した者に対し、経費の一部を補助した。また、経営の安定化を支援するため、開店後一定期間を経過した店舗への経営診断を実施した。さらに、平成23年度に設けた東日本大震災の避難者に対する優遇措置を継続して実施した。

- ・補助率 貸借料30%(東日本大震災避難者50%) (限度額36万円・期間2年間)
改装費30%(東日本大震災避難者50%) (限度額50万円・期間初年度のみ)
広告宣伝費50% (限度額15万円・期間初年度のみ)
- ・補助実績 新規補助7店舗 4,171,000円
継続補助3店舗 648,000円

(5) 児童生徒創意工夫展覧会経費

[産業政策課]

単位：円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
58,448					58,448

青少年の創作意欲と科学心の高揚を図り、次代の産業の担い手を育成するため、市内小・中学校の児童生徒から創意工夫作品を募集し、第49回児童生徒創意工夫展覧会を開催した。

- ・実施日 9月24日～25日 (秦野たばこ祭と同時開催)
- ・出品数 小学生32点・中学生16点 計48点
- ・入賞数 最優秀賞1点、優秀賞3点、優良賞7点

※入賞11点を県青少年創意くふう展覧会に出品し、特別賞(毎日新聞社賞)1点、特別賞(神奈川産業振興センター賞)1点、優良賞1点を受賞し、そのうち1点が全日本学生児童発明くふう展において「入選」に選ばれた。

(6) 商店街街路灯等維持管理費補助金

[産業政策課]

単位：円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,161,000					5,161,000

商店街の活性化を図るため、商店街団体が管理運営する街路灯等維持管理費に対し、補助した。

- ・補助率 年間支払電気料3/4(LEDは10/10)・損害賠償保険料1/2・修繕費1/3・改修費2/3以内
- ・補助実績

対象団体	補助内容	補 助 金 額 (円)			
		電 気 料	保 険 料	修 繕 費	改 修 費
22団体	街 路 灯 789基・1,592灯				
	ア 一 チ 5基・ 15灯				
	アーケード 1基・ 104灯	4,373,000円	380,000円	96,000円	312,000円

(7) 商店街駐車場管理運営費補助金

[産業政策課]

単位：円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
500,000					500,000

商業振興を図るため、商店街団体が顧客のために設置した駐車場の管理運営費に対し、補助した。

- ・補助率 管理運営費(土地の賃借料)の30% (上限500,000円)
- ・補助実績 渋沢駅前商店会(14台)500,000円

(8) 商業活性化事業費

[産業政策課]

単位：円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,651,000					3,651,000

商店街の活性化を図るため、商店街団体等が販売促進のために実施するイベント事業費に対し、補助した。また、商店街が抱えている課題に指導助言を受けるため、専門知識及び経験を有する者（アドバイザー）を商店街に派遣した。

・補助内容

補助対象経費	補助額	補助限度額
21万円未満	補助対象経費の1/3	1団体につき年度当たり 12事業まで、84万円を限度
21万円以上～50万円以下	7万円	
50万円超～75万円以下	10万円	
75万円超～100万円以下	15万円	
100万円超	20万円	

・補助実績

補助対象団体	事業数	補助額
11団体	51事業	3,567,000円

- ・派遣実績 東海大学駅前商店会（協） 3回

(9) 商業施設等建築資金利子補助金

[産業政策課]

単位：円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
100,000					100,000

鶴巻温泉駅南口周辺において、魅力ある商業地を形成し、商業施設の充実と振興を図るため、地区計画に基づく、商業施設の建築に伴う借入金に係る利子の一部を補助した。

- ・補助率 支払利子の1/2（上限100,000円）

- ・補助実績 1人 100,000円

(10) 工業活性化事業費

[産業政策課]

単位：円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
915,600					915,600

秦野商工会議所異業種研究会が実施する新製品研究開発事業等に対し、補助した。また、工業技術製品の総合見本市である「テクニカルショウヨコハマ」のブースを借り上げ、市内企業の出展を支援した。

ア 新製品研究開発事業等

- ・補助率 事業費の1/3

- ・事業内容 新製品の研究開発、他市異業種研究会との交流、先進企業への視察

イ テクニカルショウヨコハマ出展事業

- ・実施日 平成29年2月1日～3日

- ・会場 パシフィコ横浜展示ホール

- ・出展企業 13社1団体

(11) 中小企業新製品・新技術開発等奨励補助金

[産業政策課]

単位：円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
100,000					100,000

市内中小企業者の新製品・新技術開発及びこれに付随する販路拡大を奨励するため、市内中小企業者が行う新製品若しくは新技術に関する研究開発及び販路開拓に要する経費に対し、その一部を補助した。また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に関連した「新たなものづくり」の研究開発費を補助メニューに追加した。

- ・補助率 新製品・新技術開発：補助対象経費の1/4（上限額100万円）
オリンピック関連事業：補助対象経費の1/3（上限なし）
- ・補助実績 1団体 100,000円（オリンピック関連事業）

(12) 商工まつり補助金

[産業政策課]

単位：円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,323,000					1,323,000

市内の商工業を広く紹介する第41回秦野市商工まつり開催に伴い、同実行委員会に補助した。

- ・実施日 5月28日～29日
- ・来場者数 延べ35,000人
- ・補助率 補助対象経費の1/2
- ・補助実績 1,323,000円

(13) 中小企業信用保証料補助金

[産業政策課]

単位：円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7,542,300					7,542,300

信用保証協会の保証だけで市又は県の融資制度による資金を借り入れた中小企業に対し、補助した。

- ・補助率 支払保証料の全額（限度額5万円）
- ・補助実績 159件 7,542,300円

(14) 中小企業融資資金利子補助金

[産業政策課]

単位：円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
49,604,000					49,604,000

秦野市中小企業事業資金及び県経営安定資金等の利用者に対し、補助した。

- ・補助率 支払利子の1/3又は全額（国の緊急保証制度に対応した県制度融資の経営安定資金及び東日本大震災復興融資を利用した場合は1/2）
- ・補助期間 融資期間の1/2又は全期間
- ・補助実績

新 規		継 続		計	
件 数	補 助 金 額	件 数	補 助 金 額	件 数	補 助 金 額
111件	6,608,700円	481件	42,995,300円	592件	49,604,000円

(15) 秦野商工会議所小規模事業支援事業補助金

[産業政策課]

単位：円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11,071,000					11,071,000

秦野商工会議所が実施する中小企業相談事業に対し、補助した。

- ・補助率 事業費から国・県補助金諸手当等を控除した額の 1/2
- ・補助実績 11,071,000 円

(16) 地域ブランド等育成事業費

[産業政策課]

単位：円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,473,363					3,473,363

はだのブランドを活用して本市の魅力を全国にPRし、地域経済の活性化を図るため、実施主体であるはだのブランド推進協議会に対し、補助した（補助金額：2,450,000 円）。

本市ならではの魅力ある商品やサービス等を「はだのブランド」として認証するため、第5回認証審査会及び推進協議会による審査等を行い、応募13点の中から5点が認証された。

(17) 中小企業人材育成事業費

[産業政策課]

単位：円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,900,200					1,900,200

中小企業の経営管理能力や技術力の強化を支援するため、経営講座を開催するとともに、中小企業が実施する人材育成事業に対し、補助した。

ア 工業経営講座

- ・実施日等 5月18日 「ビジネススキル基礎講座」
11月24日 「向かい風、後ろを向けば追い風に！『箸匠せいわ』の実践経営」
平成29年2月6日 「激動する世界経済と日本のゆくえ」

- ・受講者数 延べ88人

イ 人材育成事業補助金

- ・補助率 補助対象経費の1/2（1企業年間10万円を限度）
- ・補助実績 69件 1,750,200円

(18) 産学公連携推進事業費

[産業政策課]

単位：円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
157,560					157,560

新製品・新技術の研究開発及び事業化を促進するため、秦野商工会議所工業部会及び東海大学と連携し、企業と大学の人的・技術的交流を支援した。

ア 講演会

- ・内容

11月18日 「秦野市における災害とリスク回避について」

平成29年2月17日 「企業に必要な知的財産の基礎知識」

- ・参加者数 延べ26人

イ 先進地視察

- ・実施日 平成 29 年 2 月 23 日
- ・視察先 株式会社みはら産業創造センター
- ・参加者数 17 人

(19) 商店街後継者等育成事業費

[産業政策課]

単位:円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
600,000					600,000

これから秦野の商業を担う若手商業者の育成や魅力ある個店づくりのため、秦野商工会議所に委託し、先進商店街の視察や店舗診断等を実施した。また、はだの商人塾を開催し、商業者としての資質向上を図った。

さらに、後継者育成の一環として婚活イベントを開催した。

ア 先進商店街の視察

- ・実施日 6 月 27 日
- ・視察先 長野県佐久市 岩村田本町商店街振興組合
- ・参加者数 11 人

イ はだの商人塾

・内容

- 9 月 1 日 「ガーバー流仕組み経営」
- 10 月 27 日 「人脈のつくり方・活かし方」
- 12 月 1 日 「お客様が恋（来い）する店づくり」
- 平成 29 年 2 月 22 日 「クレーム対応講座」

- ・参加者数 延べ 140 人

ウ 婚活イベント「秦野本気婚(マジコン)」

- ・実施日 11 月 27 日
- ・参加者数 66 人(男性 34 人 女性 32 人)、11 組のカップルが成立

(20) 商人魂お役立講座事業費

[産業政策課]

単位:円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
516,575					516,575

商店主が講師となり講座を開催することで、個店の専門性や対面販売などの大型店にはない魅力を消費者に PR し、商店街の活性化を図った。

- ・実施回数 全 2 回 23 講座
- ・参加者数 延べ 161 人

(21) 快適な住まいづくり（秦野産材住宅支援）事業費

[森林づくり課]

単位:円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,711,000					3,711,000

市内中小企業の支援と地域経済の活性化を図るとともに、秦野産木材の利用を促進するため、市内施工業者を利用して秦野産木材を使用した住宅の新增築やリフォームに対し、その経費の一部を助成した。

補助の内容	補助件数	補助金額
秦野産木材を使用した新築	8 件	3,453,000 円
秦野産木材を使用したリフォーム	1 件	124,000 円
計	9 件	3,577,000 円

(22) 住宅用スマートエネルギー設備設置費補助金

[産業政策課]

単位:円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,017,000					1,017,000

市内中小企業の支援と地域経済の活性化を図るとともに、住宅のスマート化を促進するため、市内施工業者を利用して住宅に定置用リチウムイオン蓄電システム、住宅用太陽光発電システム、エネルギー管理システム(HEMS)を設置した市民に対し、その経費の一部を助成した。

補助の内容	補助件数	補助金額
定置用リチウムイオン蓄電システム	2 件	100,000 円
住宅用太陽光発電システム	25 件	850,000 円
エネルギー管理システム(HEMS)	5 件	50,000 円
計	32 件	1,000,000 円

(23) 労働者福祉資金預託金

[産業政策課]

単位:円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
40,000,000				40,000,000	

労働者の資金需要に応えるため、中央労働金庫に資金を預託し、労働者の住宅資金や生活資金の貸出しの円滑化を図った。

- ・融資残高 8,780 件 20,392,129 千円
- ・融資状況 316 件 2,664,092 千円
- ・償還状況 344 件 1,311,058 千円

(24) 労働者生活資金預託金

[産業政策課]

単位:円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
60,000,000				60,000,000	

中央労働金庫と提携し、低利な生活資金の融資を行い、市内労働者の生活の安定と向上を図った。

- ・融資残高 99 件 75,548,143 円
- ・融資状況 10 件 16,280,000 円

耐久消費財	耐久消費財 (自動車以外)		計	
	件数	金額	件数	金額
	9	13,840	1	2,440
			10	16,280

- ・融資利率 1.80% (教育費・学習費 1.70%) (いずれも平成29年3月末日現在)
- ・償還状況 36 件 44,027,808 円

(25) 労働者福祉対策事業費

[産業政策課]

単位:円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,731,246					1,731,246

労働者の勤労意欲や福祉の向上を図るため、優良従業員・技能者の表彰、文化体育事業、労働講座及び街頭労働相談会を開催した。

・表彰

優良従業員 26 人 技能功労者 8 人 優良技能者 10 人

・労働者文化体育事業

スポーツ交流会 8月 26 日 (54 人参加)

バスハイク 11月 13 日 (230 人参加)

スケート交流会 平成 29 年 1 月 29 日 (221 人参加)

・労働講座

「労働契約法・労働基準法の基礎知識」 10月 26 日・31 日

「育児・介護のための両立支援制度のあらまし」「同一労働・同一賃金制度とは」

11月 2 日 (延べ 65 人参加)

・街頭労働相談会

5月 13 日 (相談者数 46 人)、8月 3 日 (相談者数 8 人)

平成 29 年 2 月 21 日 (相談者数 22 人)

(26) 中小企業退職金共済制度奨励補助金

[産業政策課]

単位:円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8,711,000					8,711,000

中小企業従業員の福祉向上を図るため、中小企業退職金共済制度及び特定退職金共済制度に加入している中小企業が負担する共済掛金を補助した。

・補助率 共済掛金の 1/10 (補助対象限度額 1 人当たり月額 1 万 4 千円・期間 7 年間)

・補助実績 226 件(対象人数 1,276 人)

(27) 障害者雇用奨励補助金

[産業政策課]

単位:円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,176,000					4,176,000

障害者雇用の安定と促進を図るため、障害者を雇用する中小企業に補助した。

・補助内容 身体障害者手帳 1・2 級、療育手帳 A1・A2 年額 15 万円

身体障害者手帳 3 級以下、療育手帳 B1・B2、精神障害者手帳 年額 9 万 6 千円

※いずれも 1 人当たりの金額。補助期間 10 年間

・補助実績 23 件(対象人数 39 人)

新 規		継 続		計	
人 数	金 額	人 数	金 額	人 数	金 額
9 人	864,000 円	30 人	3,312,000 円	39 人	4,176,000 円

(28) 労働者福利厚生向上事業補助金

[産業政策課]

単位:円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,435,000					1,435,000

中小企業従業員の福利向上を図るため、秦野商工会議所が実施する福利厚生事業に対し、補助した。

- ・施設等優待利用事業 箱根小涌園(379人参加)、大磯ロングビーチ(577人参加)、
- ・旅行企画事業 東京ディズニーリゾート(128人参加)、観劇(75人参加)、特別バスツアー(47人参加)
- ・ライフケア事業 働く人のメンタルヘルスケア研修会(30人参加)

(29) ふるさとハローワーク運営費

[産業政策課]

単位:円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,950,225					4,950,225

秦野市ふるさとハローワークにおいて、職業相談員3人を配置し、求職者への職業相談及び情報提供等のサービスを行った。

- ・取扱状況 来所者19,902人、相談者7,056人、職業紹介者4,869人(うち就職者906人)

(30) 求職者就職支援事業費

[産業政策課]

単位:円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
465,900					465,900

市内在住の求職者の円滑な就職を支援するため、専門カウンセラーによる就職支援カウンセリング及び就職支援セミナーを実施した。また、若者を対象とした事務職即戦力講座及びパソコン講座を県との共催により実施した。

- ・就職支援カウンセリング 23回開催(相談者数延べ105人)
- ・就職支援セミナー 10月25日・27日(延べ10人参加)
- ・事務職即戦力講座 10月17日・平成29年2月27日(延べ10人参加)
- ・パソコン講座 10月18日・19日・20日・平成29年2月28日・3月2日・3日
(延べ18人参加)

(31) 丹沢まつり補助金

[観光課]

単位:円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,500,000					5,500,000

表丹沢の本格的な登山シーズンの幕開けを告げる秦野丹沢まつり及び関連行事の開催に伴い、同実行委員会に補助した。

行 事 名	開催期日	来場者数
第33回秦野桜まつり（関連行事）	4月2日～3日	4,000人
第60回秦野丹沢まつり	4月16日～17日	25,000人
鶴巻温泉春まつり（関連行事）	4月29日	12,000人
第30回丹沢ボッカ駅伝競争大会 （関連行事）	6月5日	860人 (115チームが参加)

※秦野桜まつりのカルチャーパーク会場は工事のため未実施

(32) たばこ祭補助金

[観光課]

単位:円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
25,000,000					25,000,000

本市最大の観光まつりである第69回秦野たばこ祭の開催に伴い、同実行委員会に補助した。

- ・開催期日 9月24日～25日
- ・来場者 約240,000人

(33) 桜まつり事業費

[観光課]

単位:円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,850,200					3,850,200

観光客の誘客を図るため、弘法山公園の桜の開花時期に合わせて、提灯点灯を実施した。

カルチャーパーク前水無川河川敷では、白色のライトで花弁を照らすことで、幻想的な空間を演出し、誘客を図った。

(34) 観光施設維持管理費

[観光課]

単位:円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
30,857,398		838,080		7,412,426	22,606,892

市内の観光地や観光施設等の適切な維持管理に努め、魅力ある観光地の創出を図った。

- ・主要観光施設及び公衆トイレの定期清掃
- ・ハイキングコースの巡視及び草刈り、樹木伐採
- ・観光施設の修繕や給水設備及び浄化槽維持管理
- ・観光地トイレ便器の洋式化（弘法山）

(35) 観光協会補助金

[観光課]

単位:円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
31,113,000					31,113,000

本市の観光振興を図るため、観光魅力創出事業、観光宣伝等の担い手である一般社団法人秦野市観光協会に補助した。

- ・観光魅力創出事業（和太鼓振興事業、パンフレット等の作成、秦野駅観光案内所運営業務（平成27年9月～）、各種観光案内業務等）
- ・観光宣伝事業（ホームページ運営、秦野駅観光情報デジタルサイネージ運用（平成27年11月～）、観光写真コンクールの実施、観光キャンペーン、観光ボランティア等）

(36) 丹沢遭難対策協議会補助金

[観光課]

単位：円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
750,000					750,000

本市の代表的な観光資源である表丹沢での登山者の遭難防止を図るため、関係機関で組織する秦野市丹沢遭難対策協議会に補助した。

- ・山岳救助合同訓練の実施
- ・安全登山への啓発キャンペーン
- ・登山の基礎知識に関する啓発活動

(37) 花のある観光地づくり推進事業費

[観光課]

単位：円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,620,922				354,240	3,266,682

観光客や市民に安らぎの場を提供するため、ハイキングコース周辺に花の栽培を実施した。

- | | |
|------------------------------------|--------------|
| ・震生湖周辺 (10,193m ²) | 黄花コスモス・菜の花栽培 |
| ・弘法山公園周辺 (1,030m ²) | 黄花コスモス・ポピー栽培 |
| ・田原ふるさと公園周辺 (2,116m ²) | 黄花コスモス・ポピー栽培 |
| ・水無川平和橋上流両岸 (8,000m ²) | 菜の花栽培 |
| ・上小学校周辺 (1,000m ²) | 菜の花栽培 |

新たな桜の名所の創出のため、弘法山公園をはじめ、水無川上流や鶴巻排水機場付近へ桜を植樹した。

(38) 鶴巻温泉弘法の里湯管理運営費

[観光課]

単位：円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
111,366,321				106,551,681	4,814,640

開業 15 周年を迎える平成 28 年度は、年間入館者が前年度に対し 454 人増加し、160,020 人の方にご来場いただいた。開業以来、市内外を問わず 236 万人を超える多くの方に利用していただき、観光振興とともに、市民の健康増進に努めた。

ア 誘客キャンペーン

- | | | |
|-----|---|---|
| 4月 | 桜茶サービス | |
| 5月 | こいのぼり飾り、GW キャンペーン、こどもの日キャンペーン、母の日キャンペーン | |
| 6月 | 父の日キャンペーン | |
| 7月 | 七夕竹飾り | } サマー・湯ったりキャンペーン
(鶴巻温泉組合・テナント業者など共催) |
| 8月 | | |
| 9月 | 高齢者感謝月間、敬老の日キャンペーン、たばこ祭キャンペーン | |
| 11月 | 市民の日キャンペーン | |
| 12月 | クリスマスキャンペーン | |
| 1月 | 新春キャンペーン、成人の日キャンペーン | |
| 2月 | バレンタインキャンペーン | |
| 3月 | ホワイトデーキャンペーン | |

イ 利用人員内訳

平 日 (194 日)	87,874 人(54.9%) (453 人/日)	市内	41,871 人 (47.6%)	大人	41,110 人
			46,003 人 (52.4%)	子ども	761 人
土、日、祝日 (118 日)	72,146 人(45.1%) (611 人/日)	市外	大人	45,358 人	大人
			子ども	645 人	子ども
計 (312 日)	160,020 人(100%) (513 人/日)		大人	154,835 人	大人
			子ども	5,185 人	子ども

(39) 鶴巻温泉街再活性化事業費

[観光課]

単位:円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8,157,662				415,600	7,742,062

本市が所有する源泉「つるまき千の湯」を活用した手湯・足湯等の維持管理及び鶴巻温泉街の活性化と福祉の向上を図るため、老人福祉施設への配管整備工事を行った。

(40) 震生湖周辺整備事業費

[観光課]

単位:円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
842,400					842,400

年間を通して多くの観光客が訪れる震生湖について、周辺環境の向上を図るため、湖周辺の散策路整備工事を行った。

(41) 周遊観光促進事業費

[観光課]

単位:円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9,979,200	4,989,600				4,989,600

新東名秦野SA（仮称）を中心とした観光客の周遊性・滞在性を高め、市内での消費拡大に結びつけるため、「見て」「触れて」「食べて」をキーワードに、秦野らしさを生かした「体験」をテーマとしたルートの創出及び、新たな商品開発を行うため、関係機関による協議会を立ち上げ、観光・地域資源の現状把握調査を行うとともに、秦野 SA（仮称）スマート IC の設置を契機とした秦野周遊観光促進に向けた基本的な考えを整理した。

(42) 観光地を結ぶ交通手段による地域活性化事業費

[観光課]

単位:円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
12,960,000	6,480,000				6,480,000

大山と鶴巻温泉という自然・歴史・生活文化という地域特性のある二大観光地拠点を公共交通機関で結び、観光客の回遊性を高め、鶴巻温泉地区の観光客の増加や経済の活性化を図るため、関係機関等による会議を立ち上げ、観光ニーズの把握調査、路線バスの運行計画案の策定、観光振興策の検討を行った。

(43) 三市共同大山通信環境整備事業費（繰越明許分）

[観光課]

単位：円

事 業 費	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
13,878,040	13,000,000			878,040	

弘法の里湯及び秦野駅観光案内所等に無料Wi-Fiを設置するとともに、伊勢原市・厚木市とともに多言語化対応の大山めぐりルートガイドアプリの開発のほか、外国人観光客おもてなしハンドブックのスマホ版やパンフレットを作成した。